

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 ヒーハイト精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6433 URL <http://www.hephaist.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,346	52.1	177	294.8	175	427.5	120	373.3
29年3月期第2四半期	884	10.9	44	93.8	33	121.0	25	276.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 113百万円(453.9%) 29年3月期第2四半期 20百万円(204.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	19	30	—	—
29年3月期第2四半期	4	08	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,839	66.4	3,214	66.4		
29年3月期	4,535	68.5	3,106	68.5		

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,214百万円 29年3月期 3,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
29年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
	—	0.00	—	2.00	2.00	
30年3月期	—	0.00				
30年3月期(予想)				4.00	4.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想の修正については、平成29年10月30日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,531	15.0	257	76.9	255	91.2	154	83.8	24	80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想については、平成29年10月30日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,245,000株	29年3月期	6,245,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,948株	29年3月期	3,948株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,241,052株	29年3月期2Q	6,241,210株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用環境の改善及び企業収益の改善を受けて緩やかな回復基調が続いております。米国経済は個人消費や設備投資の増加を受け、堅調に推移しました。欧州でもユーロ圏を中心に緩やかな回復基調が継続しました。また、中国では各種政策効果もあり景気は底堅く推移し、その他のアジア諸国では景気の緩やかな回復基調がみられました。

このような状況のもと、当社グループは、「Action Thinking Teamwork」を経営方針に掲げ、組織の強化を図り、顧客への提案型営業に努め、顧客ニーズに応える応用製品の開発及び販売を促進することにより販売力を強化するとともに、引き続き、生産性の向上・原価低減等に努め、収益力の向上にも取り組んで参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,346,067千円（前年同四半期比52.1%増）、経常利益は175,100千円（前年同四半期比427.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120,435千円（前年同四半期比373.3%増）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械業界及び民生向けに販売を進め、当第2四半期連結累計期間の売上高は777,468千円と前年同四半期と比べ206,729千円の増加（前年同四半期比36.2%増）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の需要が引き続き順調に推移したことから、売上高は417,582千円と前年同四半期と比べ157,664千円の増加（前年同四半期比60.7%増）となりました。

ユニット製品につきましては、液晶製造装置等の産業用製造装置向けの売上が大幅に増加し、売上高は151,016千円と前年同四半期と比べ96,961千円の増加（前年同四半期比179.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,839,967千円となり、前連結会計年度末と比べ304,154千円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金217,593千円、機械装置及び運搬具72,967千円の増加によるものであります。

負債は、1,625,495千円となり、前連結会計年度末と比べ196,178千円の増加となりました。主な要因は、営業外支払手形87,732千円、仕入債務59,383千円及び未払法人税等35,379千円の増加によるものであります。

純資産は、3,214,472千円となり、前連結会計年度末と比べ107,975千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金107,953千円の増加によるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は66.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,168,161千円となり、前連結会計年度末と比べ217,593千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益175,088千円、仕入債務の増加額60,086千円及び減価償却費53,902千円による資金の増加に対し、法人税等の支払額18,154千円による資金の減少により、得られた資金は300,050千円（前連結同四半期は36,566千円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得による支出50,000千円及び有形固定資産の取得による支出24,287千円により、使用した資金は94,686千円（前連結同四半期は29,484千円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の増加額100,000千円による資金の増加に対し、長期借入金の返済による支出64,599千円及び配当金の支払額12,399千円により、得られた資金は13,208千円（前連結同四半期は11,202千円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期（累計）の業績及び今後の動向を踏まえ、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に公表いたしました業績予想の変更を行っております。なお、詳細につきましては、10月30日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	950,567	1,168,161
受取手形及び売掛金	472,903	335,314
電子記録債権	358,639	470,748
有価証券	—	50,522
商品及び製品	151,968	172,607
仕掛品	400,354	345,925
原材料及び貯蔵品	143,941	154,328
その他	45,114	52,718
流動資産合計	2,523,489	2,750,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	585,187	567,652
機械装置及び運搬具(純額)	170,356	243,324
工具、器具及び備品(純額)	16,615	24,895
土地	1,063,504	1,063,504
リース資産(純額)	57,612	51,329
建設仮勘定	925	1,125
有形固定資産合計	1,894,201	1,951,831
無形固定資産	11,257	11,808
投資その他の資産		
保険積立金	79,147	98,904
その他	27,718	27,096
投資その他の資産合計	106,865	126,000
固定資産合計	2,012,323	2,089,640
資産合計	4,535,813	4,839,967
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,869	440,018
電子記録債務	84,285	130,520
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	125,857	147,516
リース債務	19,101	19,824
未払金	68,424	51,008
未払法人税等	26,000	61,379
賞与引当金	21,593	30,913
役員賞与引当金	10,000	—
営業外支払手形	3,849	91,582
その他	53,276	54,722
流動負債合計	849,257	1,037,485
固定負債		
長期借入金	378,126	391,868
リース債務	40,069	32,950
役員退職慰労引当金	92,872	98,138
退職給付に係る負債	68,990	65,052
固定負債合計	580,059	588,010
負債合計	1,429,316	1,625,495

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,495	717,495
資本剰余金	664,455	664,455
利益剰余金	1,716,769	1,824,722
自己株式	△687	△687
株主資本合計	3,098,031	3,205,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,214	1,174
為替換算調整勘定	7,250	7,312
その他の包括利益累計額合計	8,464	8,487
純資産合計	3,106,496	3,214,472
負債純資産合計	4,535,813	4,839,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	884,711	1,346,067
売上原価	621,596	933,763
売上総利益	263,115	412,303
販売費及び一般管理費	218,245	235,149
営業利益	44,869	177,154
営業外収益		
受取利息	60	167
有価証券利息	—	650
有価証券評価益	—	522
受取手数料	525	831
廃材売却収入	70	210
その他	142	51
営業外収益合計	799	2,432
営業外費用		
支払利息	2,463	2,227
為替差損	10,010	2,259
営業外費用合計	12,473	4,486
経常利益	33,196	175,100
特別利益		
固定資産売却益	2,999	—
特別利益合計	2,999	—
特別損失		
固定資産売却損	—	12
固定資産除却損	13	—
特別損失合計	13	12
税金等調整前四半期純利益	36,182	175,088
法人税等	10,735	54,653
四半期純利益	25,447	120,435
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,447	120,435

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	25,447	120,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	615	△40
為替換算調整勘定	△5,584	62
その他の包括利益合計	△4,969	22
四半期包括利益	20,477	120,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,477	120,457

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,182	175,088
減価償却費	54,075	53,902
受取利息及び受取配当金	△76	△833
支払利息	2,463	2,227
有価証券評価損益 (△は益)	—	△522
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,999	12
有形固定資産除却損	13	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△67,324	25,316
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,790	22,991
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,458	60,086
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,416	9,338
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,962	5,266
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△10,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,814	△3,937
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	9,977	△7,903
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△27,412	△12,339
その他	77	781
小計	60,418	319,475
利息及び配当金の受取額	76	833
利息の支払額	△2,795	△2,104
法人税等の支払額	△21,133	△18,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,566	300,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△19,490	△24,287
有形固定資産の売却による収入	3,000	925
無形固定資産の取得による支出	△1,755	△2,137
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	30	—
その他	△11,265	△19,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,484	△94,686
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△123,334	△64,599
自己株式の取得による支出	△220	—
リース債務の返済による支出	△9,069	△9,793
配当金の支払額	△6,173	△12,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,202	13,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,113	△978
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,171	217,593
現金及び現金同等物の期首残高	744,952	950,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	760,123	1,168,161

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。